

本蓮寺番神堂



指定区分	国指定重要文化財(建造物)
読みかた	ほんれんじばんじんどう
所在地	瀬戸内市牛窓町牛窓
指定年月日	昭和33年5月14日
解説	<p>日蓮宗系統の寺には法華經を守護する三十日番神を祀る番神堂がある。本堂再建の明応元年(1492)から間もないころの建立と推定される。切妻造、本瓦葺の覆屋の中に東祠、中祠、西祠が祀られている。一番大きい中祠は、方一間、入母屋造、平入、こけら葺の一間社流造である。軒は二軒疎垂木で木舞裏をみせている。柱は総円柱であるが、向拝のみ面取柱である。天井は廻縁上に鏡天井を張り、内陣には三十番神の祭壇が置かれる。なお、東祠・西祠ともに中祠より規模が小さいものの、建築様式はほぼ同じである。</p>
アクセス方法	JR邑久駅から車で約25分、両備バス「本蓮寺下」バス停から徒歩1分
公開状況	外観のみ
設備	トイレ 
備考	